



**『宙の月光浴』**  
SPACE of SPIRIT 』  
石川賢治写真・文  
小学館 2012

年に12回の満月の夜と、その前後3日間しか撮影できないという月光写真。マダガスカルのパオバブの木、イグアスの滝の月虹…月明かりのもとで、美しい地球を感じることができます。



**『たぐんのお月さま』**  
ジェームズ・サーバー文  
ルイス・スロポドキン絵  
中川千尋訳 徳間書店 1994

海への王国にすむレノアひめは、ある日、木いちごのタルトの食べすぎで、病気になるてしまいました。「お月さまをもらったら、きつとげんきになるとおもうの」ひめからそう聞いた王さまは、大臣を呼んで月をとってくるように命じますが…。アメリカの優れた絵本に与えられるコールデコット賞を受賞した、子どもから大人まで楽しめる絵本。

★ **『月の本』**  
perfect guide to the MOON 』  
林完次写真 角川書店 2000

文学、天文学、社会学、人類学、美術…各分野から専門家が月について執筆。世界の月伝説や、月を観測してきた歴史、月の引力と人体の関係など…様々な角度から月の謎や魅力に迫っています。

★ **『月と暮らす。月を知り、月のリズムで』**  
藤井旭著 誠文堂新光社 2011

見る時々によって異なる表情を見せる月。その様々な月の表情を、美しい写真で見ることができます。月の満ちかげに合わせて、月の様子についてもくわしく解説。他にも、月光、月に関することばや月の模様、月世界旅行についてなど…私たちが毎日目にする月のお話が盛りだくさんです。

**『絵のない絵本』**  
ハンス・クリスチャン・アンデルセン著  
山室静訳 岩崎ちひろ画 童心社 1966

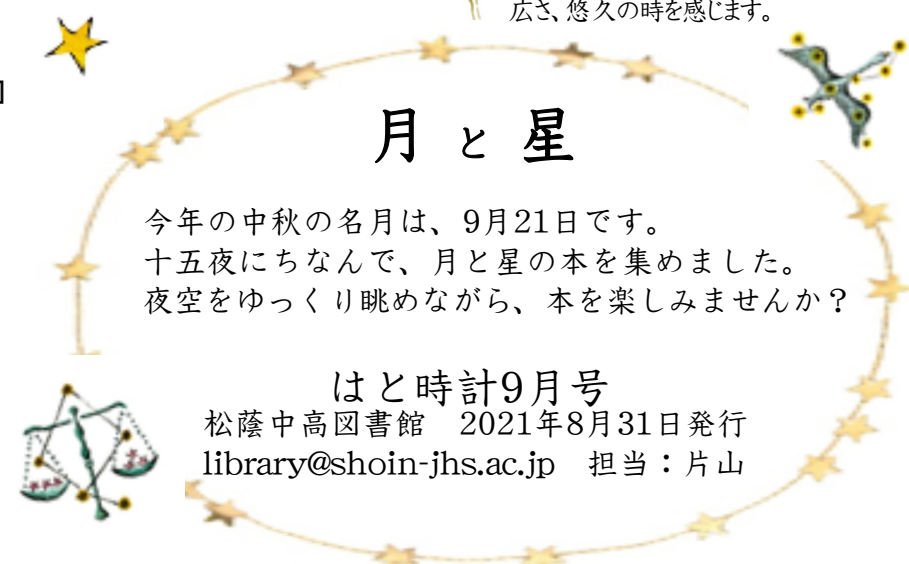
せまい小路の片すみに住んでいる貧しい絵かき。ある夕方、窓をあけるとそこに昔なじみの月を見つけた。月は「さあ、わたしの話すことを、そのままかいていってごらん。きっと美しい絵本ができるよ」と言って…世界中を照らす月が語った三十三夜の物語。デンマーク作家 アンデルセンによる連作短編集。

★ **『星を継ぐもの』**  
ジェイムズ・P・ホーガン著  
創元SF文庫 2020

真紅の宇宙服をまとった死体が、月面調査隊によって発見された。死体は地球の研究室に持ち帰られ、綿密な調査が行われるが、驚くべき事実が明らかに…。その死体は現代人と同じ生物であるにもかかわらず五万年以上も前に死んでいた…。ジェイムズ・P・ホーガンのデビュー作にして、ハードSFの歴史的傑作!!

★ **『お月さまのこよみ絵本』**  
旧暦で行事をたのしむ 』  
千葉望文 阿部伸二絵 理論社 2016

お月さまのこよみ(旧暦)で見ると、日本では一年を通して様々な行事が。昔から親しまれてきた行事を絵本にして旧暦とともに紹介した一冊。



## 月と星

今年の中秋の名月は、9月21日です。十五夜にちなんで、月と星の本を集めました。夜空をゆっくり眺めながら、本を楽しみませんか？

**はと時計9月号**  
松蔭中高図書館 2021年8月31日発行  
library@shoin-jhs.ac.jp 担当：片山

★ **『星へ行く船』**  
星へ行く船シリーズ1 』  
新井素子著 大概香奈装画  
出版芸術社 2016

とある事情で、家出をして宇宙船に乗り込んだ主人公。ところが、自分と同じ個室の切符を持っている人が他にも！そして事件に巻き込まれて…。新装完全版として刊行された全5巻のSF小説シリーズ第1弾。

★ **『竹取物語』**  
江國香織文 立原位貫画  
新潮社 2008

「今は昔、竹取の翁といふものありけり…」で始まる「竹取物語」は、成立年・作者未詳であり、日本最古の物語文学とされています。その「竹取物語」を、作家江國香織と、木版画家の立原位貫がコラボレーションして、表現したものがたり絵本です。今一度「竹取物語」の世界を味わってみませんか。

★ **『FAR OUT ファー・アウト』**  
銀河系から130億光年のかなたへ 』  
マイケル・ベンソン著 檜垣嗣子訳  
新潮社 2010

肉眼ではとらえられない星、銀河の世界を大きな写真でじっくり見ることができます。吸い込まれそうな銀河の光景に、宇宙の広さ、悠久の時を感じます。

★ **『星のかけら』**  
重松清著 新潮文庫 2013

“星のかけら”…それを持っていれば、どんなにキツイことがあってもたえられるという…小学六年のユウキは、同級生からじめにあって。ある日、塾の友だちのマサヤが、星のかけらのウワサをユウキに話してきた。二人は塾の帰りに星のかけらを探しに行くことに。しかしそこで二人が見たのは…。生きることに向き合う少年たちの物語。

★ **『大切なものは目に見えない』**  
—『星の王子さま』を読む— 』  
宮田光雄著 岩波ブックレット 1995

今でも多くの人に読まれ、愛されているサン=テグジュペリの『星の王子さま』。王子さまとどつてのバラ、星めぐりの旅、キツネとの出会いなど…この物語の魅力はどこにあり、どう読んだらいいのか、作品を見つめ、素直に解説した一冊。サン=テグジュペリの『星の王子さま』と一緒にどうぞ。

★ **『星ごよみ365日』**  
季節を感じる  
美しい星空のめぐり方、愉しみ方 』  
星空さんば編集部編 誠文堂新光社 2018

一年分の日本、世界各地の星空の写真を楽しめます。条件が良くなければ見えない星空、星団や彗星などの珍しい写真もあり、一年を通じた夜空の様子を、堪能できる一冊。

★ **『藤井 旭の星座と星座神話 秋』**  
藤井旭著 誠文堂新光社 2011

秋の夜空を中心に、星座の見つけ方、星座神話を紹介している本です。イラスト、写真があってわかりやすく、星空の時間割もあり、星座を見つけるには最適。春、夏、冬の本もあります。本書末の全天星座リストは必見！同著者の『はじめる星座ウォッチング』や、同出版社の『天文年鑑2021年版』もおすすめ。

★ **『銀河鉄道の夜』**  
宮沢賢治作 岩波少年文庫 2000

いじめられっ子で孤独な少年ジョバンニ。銀河のお祭りの夜、天気輪の柱のある丘で空を見上げていると「銀河ステーション、銀河ステーション」というふしぎな声が聞こえて…「銀河鉄道の夜」のほか、「やまなし」「貝の火」「なめとこ山のくま」「オッペルとぞう」「カイト団長」「雁の童子」「闇の深さ(秋山豊寛)」を収録した宮沢賢治の童話集。

★ **『彗星がふってくる日』**  
(ムーミン・コミックス9) 』  
トベ・ヤンソン、ラルス・ヤンソン共著  
富原真弓訳 筑摩書房 2001

「変だね 風もないし やけにじつとりてる…」 「あの雲をごらんよ！」 「なにか悪いことがおきる前ふれよ！」…ムーミン谷に彗星がふってくる!? 「彗星がふってくる日」のほか「サーカスがやってきた」「大おぼさんの遺言」を収録。全14巻のムーミン・コミックスシリーズ。



★ **『空のひしゃく 北斗七星』**  
E・C・クラブ文  
ロビン・レクター・クラブ絵  
藤岡千枝訳 岩波書店 1993

天文学者の夫とイラストレーターの妻が共同でつづった科学絵本。ひしゃく(北斗七星)を軸に、素敵な絵で地球や太陽、星の動きを説明しています。北極星はずっと同じ星じゃない?!ひしゃくの形は変わっていく?!など気になる話もやさしく解説。



★ **『じぶんをもっと好きになる』**  
はじめての心の星うらない 』  
関口シュン著 かもがわ出版 2015

生まれたときの星の位置を調べて、その人の性格や人生を判断するときの手がかりとする星うらない(占星術)。星うらないについて知り、自分が生まれたときの星を調べてみませんか。

★ **『星占いのしくみ』**  
運勢の「いい」「悪い」は  
どうして決まるのか? 』  
石井ゆかり、鏡リュウジ共著  
平凡社新書 2009

星占いとは何か、その理論や意味、歴史を、星占い・占星術の分野で活躍する石井ゆかりさん、鏡リュウジさんが解説した一冊。

リクエスト本

『夜に駆ける YOASOBI 小説集』

星野舞夜・いしき蒼太・しなの・水上下波 著  
双葉社 2020

歌詞の意味がよく分かるストーリー。読んだ後に曲を聞くと、【いい曲だ!】となること間違いなしです。

馬路先生のお子さん 談



『多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。』

Jam マンガ・文

名越康文監修 サンクチュアリブックス 2018

自分のいないときに、自分の悪口を言われているんじゃないかって気になることはありませんか?あるいは人の自慢話をみてイライラしませんか?「いいね」が少なくてちょっと落ち込んだり。ものすごく傷つくようなことをいわれて、ずっと気にしてしまう。それを友達にいったら「多分そいつ～」と言われて妙に納得してしまった。いろんなことで悩んでしまう私たち。でも悩むだけ損なこともあります。気もちを前向きに切り替えるためにどう考えたらいいか、お薦めの本です。

『さかなクンの一魚一会 まいにち夢中な人生!』

さかなクン 作・絵 講談社青い鳥文庫 2021

研究者としても有名なさかなクンの、自叙伝です。メジナという魚が、水槽に入ると一匹を仲間はずれにして攻撃しはじめました。かわいそうだからいじめられた一匹をほかの水槽にうつすと、また別の一匹がいじめられるようになり。その子をほかにうつしてもまた別の子がいじめられてしまう。広い海のなかなら、こんなこと起こらないのに。小さな世界に閉じ込められるとこんなことが起こってしまう。人間の世界も....

2021年読書運動「希望」のPOP  
優秀作品と中学2年生の家庭科の課題・  
絵本の帯は10月30日(土)まで  
展示します。

これをみて借りていった小学生も多かったです。  
(夏休み宿題お助け講座、サタデーライブラリー)  
保護者の方もよろしければご覧ください。

『ジブリアニメを心理分析』

清田予紀著 王様文庫 2021

どうしてキキの黒いワンピースが魅力的なのか、ソフィーが老婆の姿をあっさり受け入れた理由は? クロトワとジコ坊ではどっちが腹黒い? 湯婆婆の「名前を奪う魔法」の本当の恐ろしさとは 亡びの呪文「バルス」がシータとパズーにもたらしたものは? なぜカオナシは千尋にまとわりついた? どうして見るたびに懐かしいの?

ジブリ作品の癒し効果などについて書かれています。興味のある話題だけ拾い読みしても面白いよ。

『自分をたいせつにする本』

服部みれい著 ちくまプリマー新書 2021

「自分をたいせつにする」ということは利己的だったり自分勝手だったり、自己中心的なわがままというものではありません。自分も人も大切にすること。最初から自信があるひとはいません。自分が好きですか?自分をつくっているものは何ですか? 友達は素敵ですが、たくさんいる必要はありません。じぶんというものを立ち止まって丁寧に考えてみませんか? 章ごとにワークがありますのでより具体的に考えられます。精神的なものだけでなく物質的に自分を大切にする方法も書かれています。

半身浴や足湯の方法、SNSを休む、自然にふれる...  
どんなことを習慣にしたらいいのか。



『見た目が気になる 「からだ」の悩みを解きほぐす26のヒント』

河出書房新社編 14歳の世渡り術 2021

松蔭OGの澤田知子さんが、書いています。彼女は自分だけを撮影する現代美術作家。でも展示された400枚の写真がすべて彼女の写真だとわかるひとは2割くらい。どうしても人は見た目判断してしまう。

中高時代の出会いから美術作家になるのですが、いじめにも遭っていた。でも低くて丸い鼻をNYの人はほめてくれた。時代や場所が変わればコンプレックスだってなくなったり変わったりする。ダメだと決め付ける必要はない!



『小説 火の鳥 大地編』

上・下 桜庭一樹著 手塚治虫原案 朝日新聞出版 2021

不死鳥である火の鳥がタクラマカン砂漠で見つけた!上海にいた関東軍の間久部緑郎は上司の命令で弟と、猿田博士と、ウイグル語を話すマリアと火の鳥をさがす旅に出る。手塚治虫が生きた時代に、彼の生み出したキャラクターたちと東条英機、山本五十六、川島芳子など実在の人物たちが歴史を大きく動かしていく。まずマンガを読んでからこの小説を読むと胸アツです!手塚治虫のマンガ「火の鳥」12巻は所蔵しています。



『食べものから学ぶ世界史 人も自然も壊さない経済とは?』

平賀緑著 岩波ジュニア新書 2021

コロナ禍でたいへんなのに、このごろ天気までおかし。でも実はこれはずっと以前からおかしかった。食べ過ぎて不健康になる人がいる一方で餓死する人もいる。苦労して作った食料の3分の1が世界で廃棄されている。実は18世紀に植民地や新世界で生産した小麦や砂糖などの商品作物を輸入し、ヨーロッパで産業革命を支える労働者たちの安い食料として資本主義の発展を推し進めるというパターンが確立した。それまでは食べものも生活に必要なものも、自分で作っていたのに、農村から追い出され、工場労働者として雇われたひが増え、大量生産を始めることになり。安く手っ取り早く食料を得て、安い賃金で長時間働かせて、「商品」を作りすぎる。それが売れなくなって破綻し始めます。需要と供給のバランスが崩れ、価格が暴騰し、企業が倒産し、失業者があふれ、恐慌が始まります。公共事業をふやすなどして景気の回復をめざすニューディール政策がとられます。実際にはそれだけでなく戦争特需が景気を後押しした面もありました。大豆粕とトウモロコシの大量生産により、それをえさとした肉や乳製品などが安く太陽清算できるようになりました。生産・加工・流通・消費がすべて大量に行われる『デブの帝国』の誕生です。

ではなぜ救われない飢餓の地域があるのか?日本における食と資本主義の歴史は?『火垂るの墓』で主人公が衰弱死したのは三ノ宮駅でした。学校給食の位置づけは?

そして『中国のブタが世界を動かす』?世界史の流れが食料をもとに理解できる1冊です。小さな本ですが10冊分以上の内容がつまった本です。

学研ニューコースの参考書、  
問題集があたりしくなりました。

中学国語・英語・数学・理科(各中1・中2・中3)  
中学歴史・公民・地理・英文法など計27冊  
利用して下さい。

